

令和6年度下期（10～2月） 学校評価の結果について

令和6年度下期の東陽中学校の学校評価（保護者、生徒、教職員）結果を学校HPに公開しています。なお、アンケート結果についてのお尋ね等ありましたら、東陽中学校（TEL:65-2650）までご連絡ください。

＜考察及び対策等について＞ ○評価が高い項目、▲評価が低い項目、※考察、☆対策

① 教職員の結果から

- 学校から積極的に情報発信を行っている。（各通信、学校HP等）
- 小中一貫・連携教育を着実に推進している。
- 地域人材を授業等で積極的に活用し、地域とともにある学校づくりが進んでいる。
- ▲三点固定運動（起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間）が着実に定着している。
- ▲感性を磨き、想像力を豊かにする読書活動が推進できている。
- ▲自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表するよう、子どもたちに支援している。

※実践発表会を開催したためか、小中一貫・連携教育の項目が向上しました。基本的な生活習慣の定着や読書活動の推進に関する評価は低い結果でしたが、上期からは改善傾向にあります。今年度、熊本県が授業改善重点指標に掲げた「発信力」については、まだまだ支援が不十分と捉えています。

② 生徒の結果から

- 先生方は、あなたが心配事や悩み事を相談したときに、親身になって聞いてくれますか。
- あなたは、地域貢献につながる活動を主体的にしていますか。
- あなたは、学校行事や生徒会の活動に積極的に参加していますか。
- ▲あなたは、読書が好きですか。
- ▲家庭学習を自分で計画を立て、決まった時刻に（もしくは一定の時間）取り組んでいますか。
- ▲あなたは、授業で分からぬところがあったとき、先生や友達に質問できていますか。

※“自律・協働・貢献”の学校教育目標スローガンのもと、ボランティアガイドや伝統文化学習、学校行事等に主体的に取り組んでいることが明らかになりました。課題として、読書・家庭学習（1年）、学習への困り感・就寝時間（2年）を挙げています。

③ 保護者の結果から

- 学校は、地域貢献につながる活動を積極的に行ってていますか。
- 学校は、学校便りや学級通信等で子どもの様子、学校の様子を伝えていますか。
- 学校は、義務教育9年間を見通した小中一貫・連携教育を推進していますか。
- 学校は、校舎内外が整理・整頓・清掃され、教育的な環境が整備されていますか。
- ▲子どもは、読書の習慣が身についていますか。
- ▲子どもは、携帯電話やスマートフォン、ゲームなどを、使用時間やマナーを守って使うことができていますか。
- ▲子どもは、家庭での学習習慣が身についていますか。

※上期同様、多くの項目で3.0以上の高い評価をいただきました。保護者の皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。課題として、読書や学習習慣、情報通信機器の使い方が挙げられています。

☆課題改善のため、学校では、①自分の考えを工夫して発表する学習活動の設定や、②図書クイズやポップコンテスト等、手軽に本に親しむ環境づくりをさらに充実させてまいります。ご家庭におかれましては、読書習慣、学習習慣が身につかない大きな要因となっている情報通信機器の使い方について、改めて使用時間やマナーについてお子様と話し合っていただきたいと思います。今後とも、保護者の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。